

橋梁下部での耐震補強装置設置作業において、アンカーやチェーンブロックによる揚重作業をすることなく重機操作のみで安全にブラケットを設置することができる工法です。

新設床版・壁高欄技術

耐震補強関連技術

機械技術

他リニューアル技術事例

お客様のメリット

- アンカーを用いた揚重作業が発生しないため、アンカー脱落による重量物の落下リスクがなくなります。
- ブラケットの設置作業に足場や架設鋼材を必要としないため、仮設費を低減することができます。
- 従来工法と比べ、工程短縮がはかれます。

技術の特徴

低空頭狭隘地での重量物設置作業が可能

フォークアタッチメントを使用することで、高架橋下や橋脚下などの空頭制限のある現場での作業に最適です。



鋼製ブラケット設置時の安全性が向上

機械式アンカーを使用した既設床版や既設桁からチェーンブロック等で揚重する工程がなくなるため、アンカー脱落やチェーン切断による重量物落下の危険性がなくなります。

作業足場や架設鋼材が不要

テレハンドラーと高所作業車による作業となるため、鋼製ブラケット設置作業に作業足場や架設レールなどの鋼材は必要ありません。

専門架台によりブラケット位置の微調整が可能

専用架台で鋼製ブラケットの設置位置を調整するため、チェーンブロックやレバーブロックが不要で、鋼材に直接触れることなく作業が可能です。



従来工法に比べ、設置工程の短縮

従来工法に比べ、約1.5倍の効率で設置作業が可能です。

鋼製ブラケット設置費用の低減

従来工法に比べ、約10%の設置費用が低減できます。

テレハンドラー運転に必要な資格など

ショベルローダー等運転技能講習修了者。 注) 使用するアタッチメントに応じた運転資格が必要です。

実績・事例

以下の工事で、テレハンドラーによる鋼製ブラケットの設置作業を実施しました。

- ・西日本高速道路(株)中国支社 山陽自動車道 倉敷高架橋耐震補強工事 (岡山県)
- ・西日本高速道路(株)関西支社 阪和自動車道 大野芝高架橋耐震補強工事 (大阪府)
- ・中日本高速道路(株)東京支社 新湘南バイパス 茅ヶ崎高架橋耐震補強工事、赤羽根高架橋コンクリート橋耐震補強工事 (神奈川県)



新湘南バイパス 茅ヶ崎高架橋

社外表彰

- ・令和4年度 土木学会技術賞 橋梁耐震補強工事における品質・安全・生産性向上技術の導入～茅ヶ崎高架橋コンクリート橋耐震補強工事～
- ・特許番号：第7278554号 水平力分担構造体設置装置および水平力分担構造体設置方法



施工動画QRコード